

令和 2 年度エゾシカ航空カウント調査業務 実施結果（速報版）

釧路湿原において越冬するエゾシカの生息状況を把握するために、航空カウント調査を行った。

1. 調査範囲

航空カウント調査の調査範囲を図 1 に示す。過去の調査及び環境研究総合推進費「釧路湿原にて超高密度化状態となったシカの管理を成功させる戦略と戦術(平成 26～28 年度)」(以下推進費事業) で作成された調査ユニットを用い、釧路湿原全域を調査した。

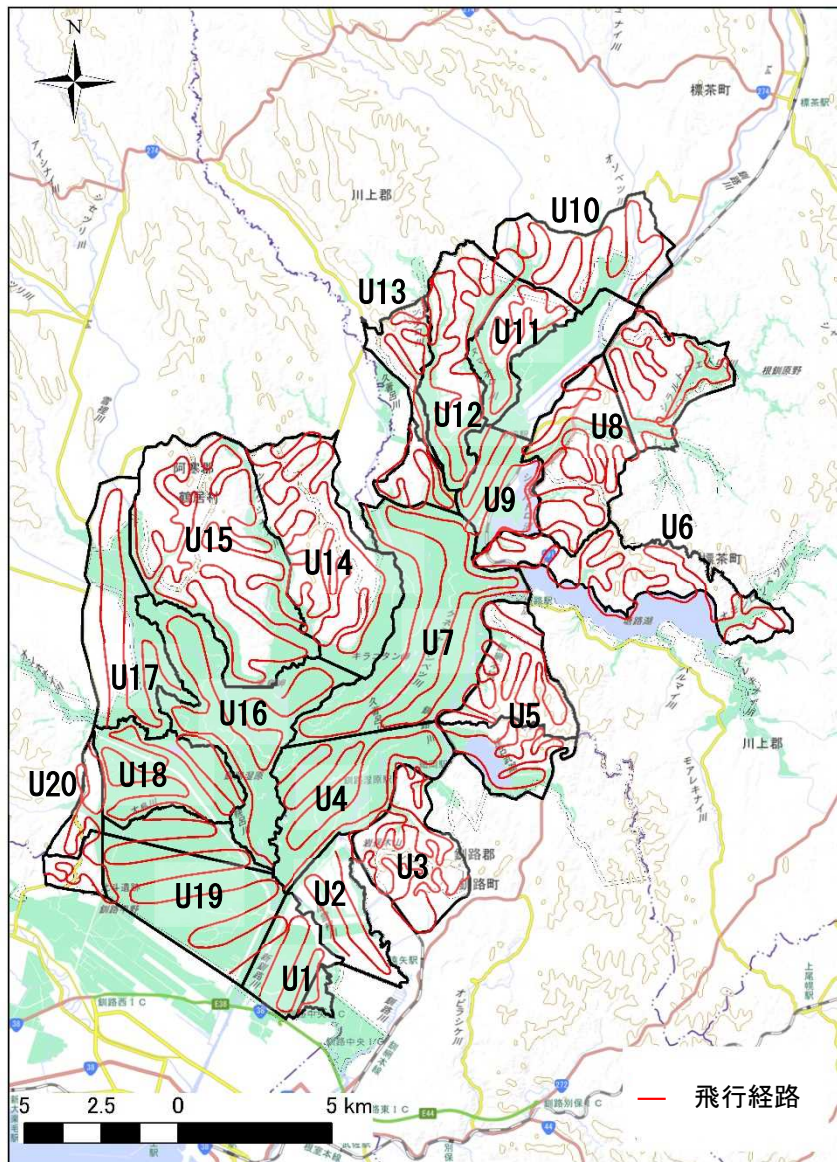


図 1 航空カウント調査の調査範囲（黒字：ユニット番号、赤線：飛行経路）

2. 調査時期

2021年2月11日から14日までの4日間、1日あたり3時間調査を行った。

3. 調査方法

低速で飛行するヘリコプターから目視でエゾシカを観察し、頭数、齢構成等を記録した。通常の調査に加え、見落とし率を算出し密度推定を行うため、通常の2倍の努力量をかける強度調査も実施した。

4. 結果

今年度の観察頭数および密度（速報値として n/ユニット面積で算出、今後見落とし率で補正予定）を過去のデータと並べ表1～2、図2～5に示す。

表1 2021年のユニット毎の観察頭数および生息密度

ユニット	面積 (km ²)	頭数 (n)	密度* (n/km ²)
U1	7.4	52	7.03
U2	7.8	13	1.67
U3	11.2	71	6.34
U4	16	162	10.13
U5	16.8	92	5.48
U6	14.4	59	4.10
U7	27	302	11.19
U8	14	349	24.93
U9	7.7	146	18.96
U10	11.1	87	7.84
U11	8	150	18.75
U12	13.3	191	14.36
U13	8.4	161	19.17
U14	21.2	151	7.12
U15	30.4	396	13.03
U16	20	453	22.65
U17	16	171	10.69
U18	11.6	37	3.19
U19	21.3	85	3.99
U20	5.6	64	11.43
合計	289.2	3192	11.04

*見落とし率による補正前の速報値

表 2 2015 年と 2021 年の航空カウント調査結果の比較

ユニット	面積 (km ²)	2015. 2		2021. 2	
		頭数 (n)	密度 (頭/km ²)	頭数 (n)	密度* (頭/km ²)
U3	11.2	30	4.6	71	6.3
U4	16	120	13	162	10.1
U5	16.8	70	7.2	92	5.5
U6	14.4	85	10.2	59	4.1
U7	27	260	16.6	302	11.2
U8	14	69	8.5	349	24.9
U9	7.7	61	13.7	146	19.0
U10	11.1	45	7	87	7.8
U12	13.3	70	9.1	191	14.4
U13	8.4	32	6.6	161	19.2
U14	21.2	50	4.1	151	7.1
U15	30.4	68	3.9	396	13.0
U18	11.6	16	2.4	37	3.2
U20	5.6	6	1.9	64	11.4
合計	208.7	982	7.8±1.2	2,268	10.9

*2021 年の生息密度は見落とし率による補正前の速報値

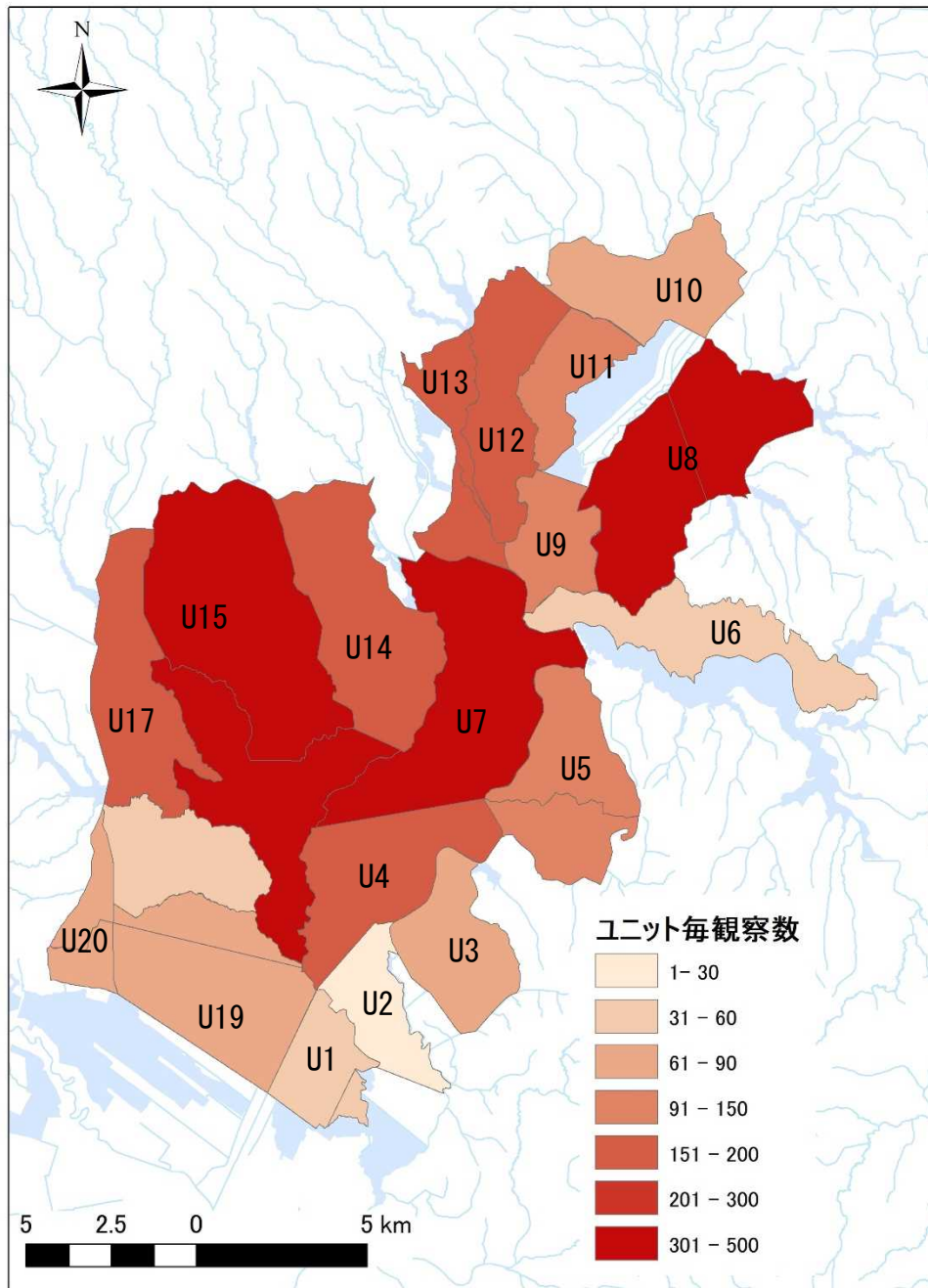


図2 2021年のユニット毎の観察頭数

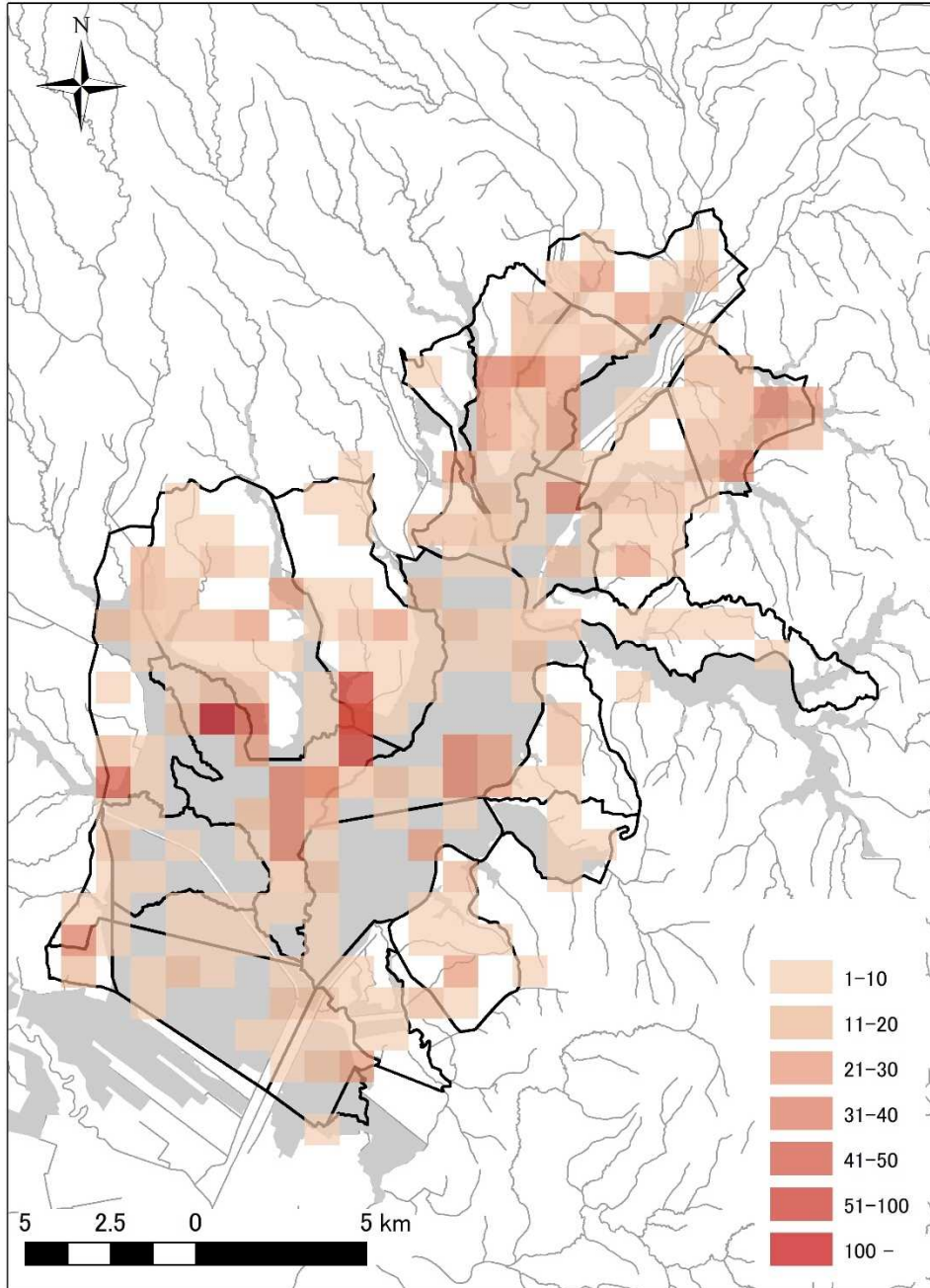


図3 2021年の1 kmメッシュ毎の合計観察数

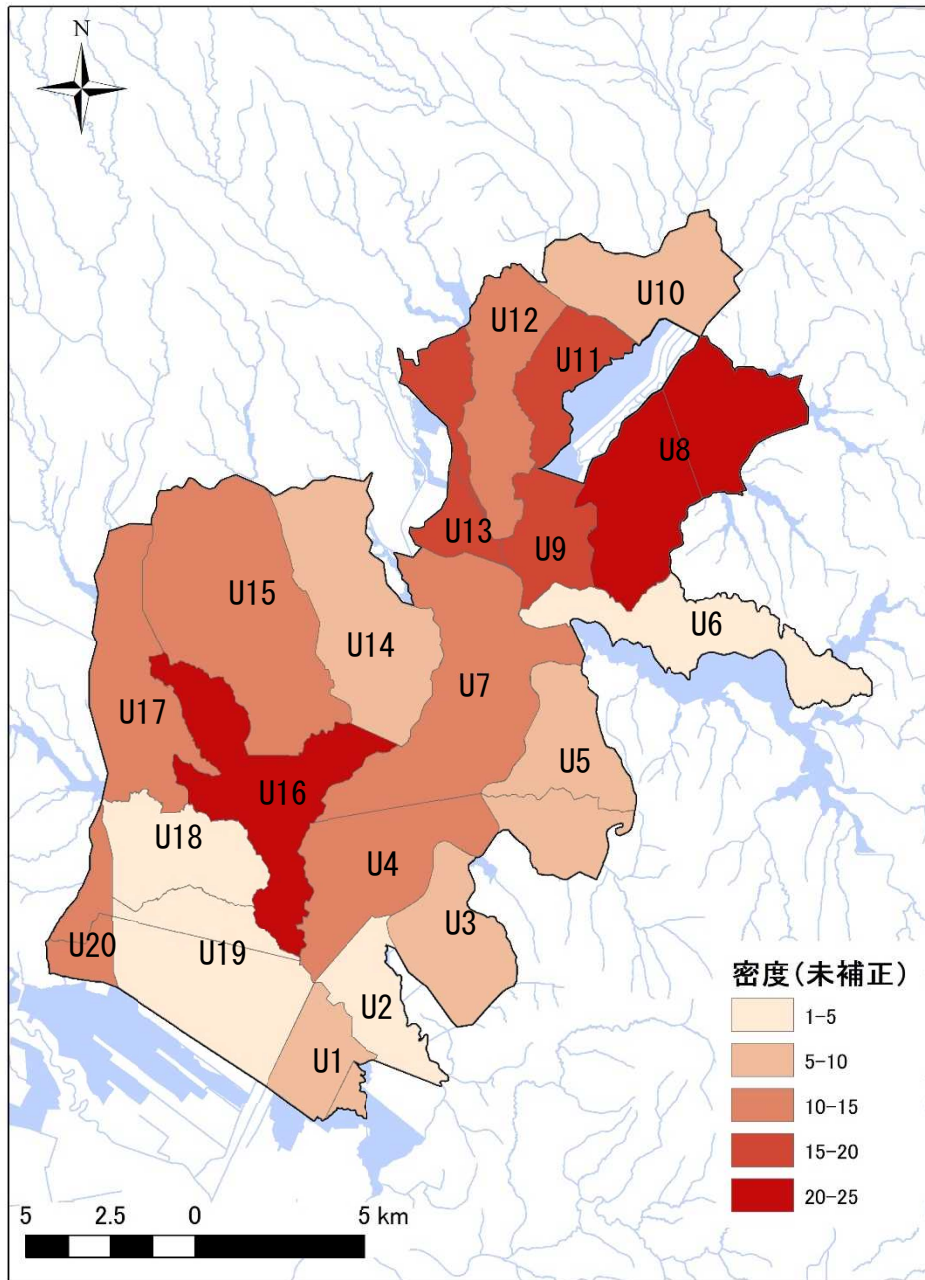


図4 2021年のユニット毎の生息密度(未補正)

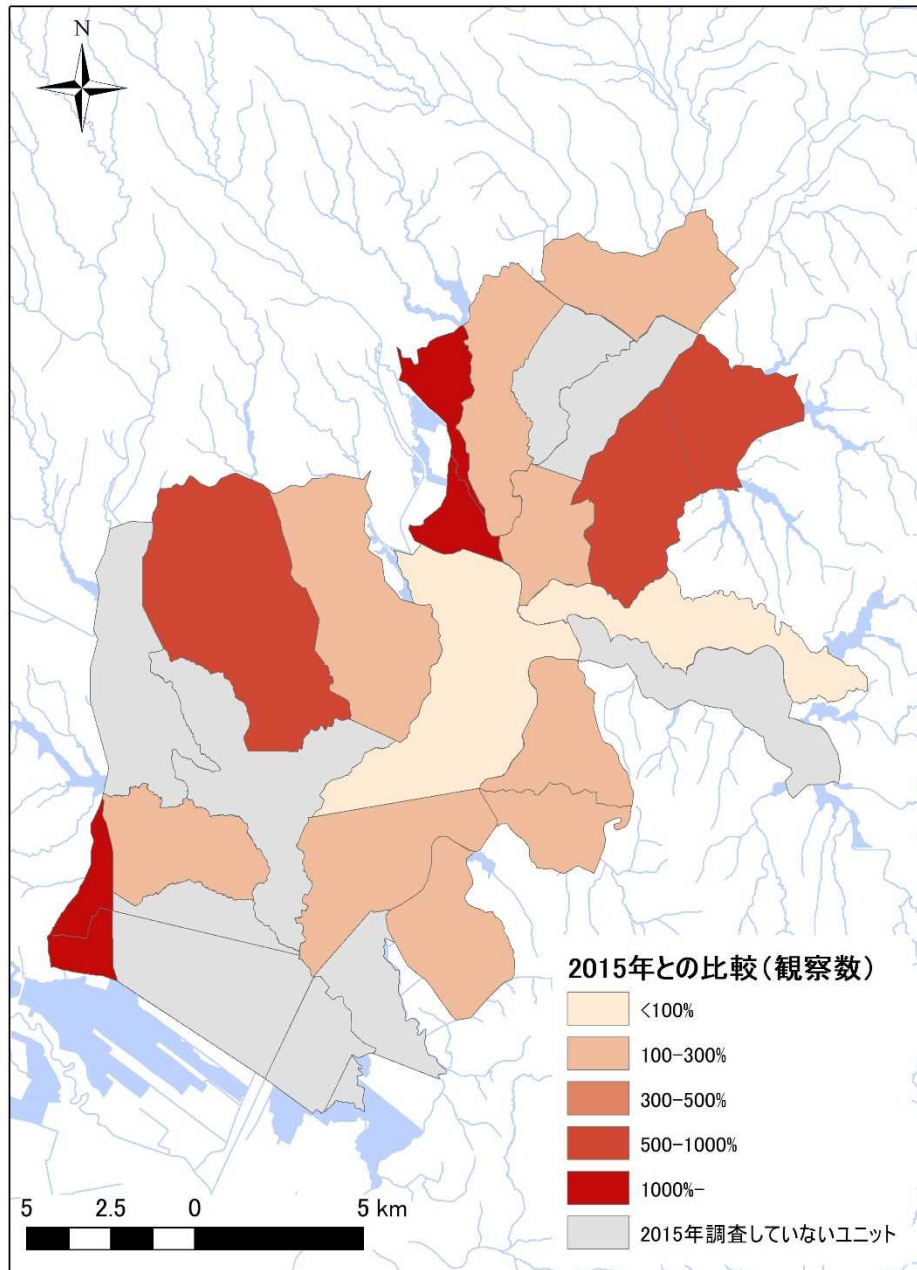


図5 2015年と2021年の観察数の比較